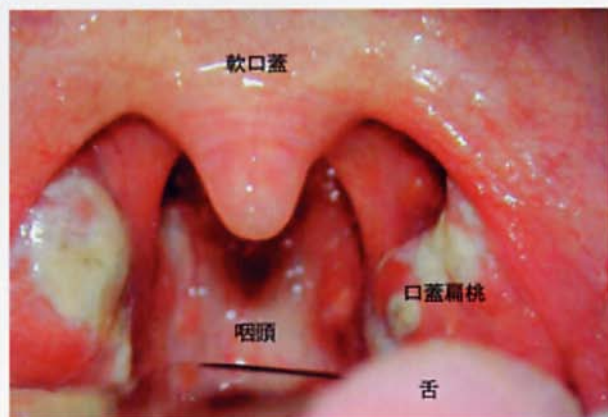


咽喉・扁桃炎の分類

急性咽喉・扁桃炎は、日常診療においてよく遭遇する疾患です。炎症が咽喉にあれば「咽喉炎」、扁桃（主に口蓋扁桃）にあれば「扁桃炎」といいます。しかし、どちらかに炎症があれば、もう一方にも炎症がおこっていることが多いため、明らかにどちらかである場合を除いては、区別せずに「咽喉・扁桃炎」ともよばれます。

溶連菌による咽喉・扁桃炎の診断ポイントは、口蓋扁桃の腫脹・発赤、白苔、軟口蓋の強い発赤と莓舌、強い咽頭痛などです（図1）。アデノウイルスによる咽喉・扁桃炎（図2）やEBウイルスによる伝染性単核症（図3）でも溶連菌性咽喉・扁桃炎とよく似た所見がみられますが、アデノウイルスは咽喉後壁の発赤とリンパ濾胞の腫脹がみられ比較的咽頭痛が軽い、伝染性単核症は頸部リンパ節腫脹がみられることなどから鑑別が可能です。



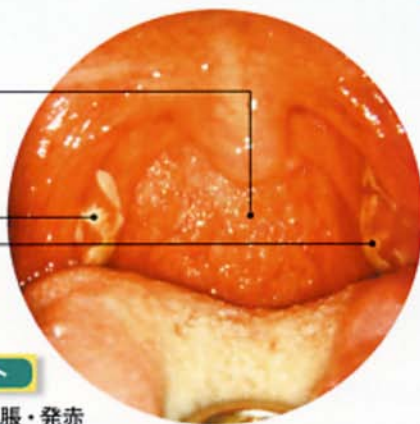
診断のポイント

1. 口蓋扁桃の腫脹・発赤
2. 口蓋扁桃の白苔
3. 軟口蓋の強い発赤と莓舌（舌乳頭の発赤、腫脹）
（小児では特徴的だが、成人では強くない）
4. 強い咽頭痛

図1 溶連菌性扁桃炎（成人）の症例

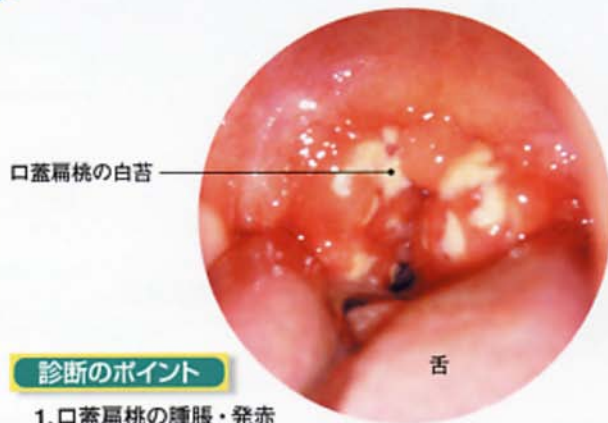
咽喉後壁の発赤、
リンパ濾胞の腫脹

口蓋扁桃の白苔



診断のポイント

1. 口蓋扁桃の腫脹・発赤
2. 口蓋扁桃の白苔
3. 咽喉後壁の発赤とリンパ濾胞の腫脹
4. 高熱の割に、咽頭痛が軽い



診断のポイント

1. 口蓋扁桃の腫脹・発赤
2. 口蓋扁桃の白苔
3. 頸部リンパ節腫脹
4. 初診時体温が37℃未満

図3 伝染性単核症の症例

図2 アデノウイルスによる咽喉・扁桃炎の症例